

Amagasaki Oda High School

SSH Communication

令和2年12月28日 No. 5
兵庫県立尼崎小田高等学校
SSH 推進委員会

1 1月22日 瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミット (第10回瀬戸内海をを考える高校生フォーラム)



小田高 SSH の伝統行事である高校生サミットが今年も行われました！今回は校内での発表だけでなく、新たな手法として Zoom によるオンライン中継も行いました。小田高(SR, 国探, 類型)を含め5校が来校。7校がオンラインで参加し、ポスターセッション・オンラインによる発表・ボードディスカッション・報告会を行いました。

ポスターセッションでは各グループの課題研究の成果を報告したり、それに対して質問したりしました。課題研究のテーマはマイクロプラスチック関連、ヘドロの肥料化、DNA 解析、減災、サバメシ(サバイバルメシ炊き)、生分解性プラスチック、カエルの塩分耐性など様々なテーマがありました。他校生、来賓の方々や、先生からたくさんの質問・アドバイスをいただくことができました。

オンラインによる発表はオンライン参加校がタイムテーブルに従って課題研究の成果を発表をするというものでした。こちらの方もたくさんのテーマがあり、興味深い内容が多かったです。

ボードディスカッションは以下の3つの論題について班でディスカッションをしたり、来賓の方にアドバイスをいただいたりしました。ディスカッションは盛り上がりすぎて時間が足りなかったようでした。

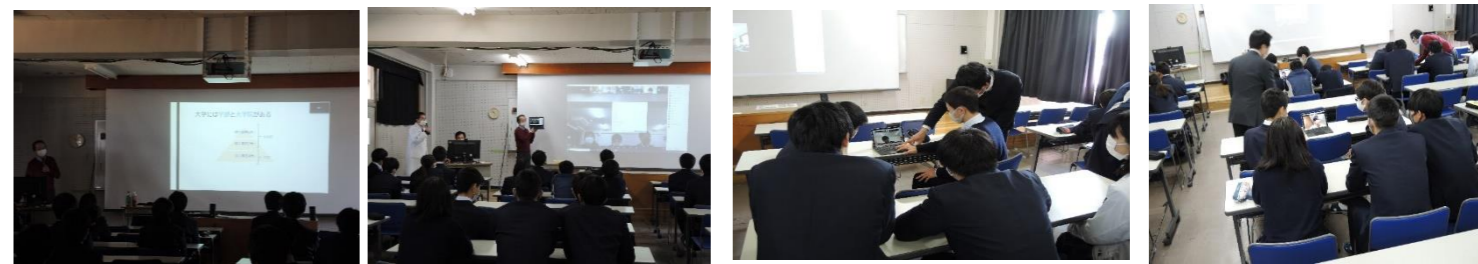
論題①：「豊かな瀬戸内海」を実現・維持するためには、どのような課題に向き合わなければならないか。

論題②：瀬戸内地域の課題発見や課題解決に、各校の課題研究の取組・手法はどう役立つか。

論題③：課題解決に向けて、高校生によるどんな連携ができるか。高校生サミット後、どう活かしていくか。

報告会ではボードディスカッションの内容を班ごとに報告しました。

1 2月23日 数学特別講座Ⅱ(大阪府立大学オンライン研修)



今回の数学特別講座は大阪府立大学研修でした。前半は大阪府立大学の会沢先生の講義を受け、後半は大阪府立大学4年生(全員理系)と Zoom で対談しました。

会沢先生の講義では大学・大学院について学びました。高校までとの違い、時間割は自分で考える、大学は教育が中心で大学院は研究が中心、1時限は90～100分、進路選択は大学進学後を考えることが重要、国公立大学は生徒1人に対する教員の数が私立大学より多いなど、大学における考え方の基本を知ることができました。

大学生との対談は Zoom で4グループに分かれて行いました。勉強のやり方、大学生活、大学での研究とはどのようなものなのか、大阪府立大学を選んだきっかけなどたくさんのお話を聞くことができました。どの班の話も時間いっぱいまで盛り上がっていました。1年生のうちに大学生の生の声を聞くことができたのは、とてもいい経験だと思います。

1 2月24日 プレゼンテーション特別講義



SR 科の2年生が関西国際大学の有本先生からプレゼンテーションに関する特別講義を受けました。最初に有本先生の講義を受け、ペアワークを行い、最後に代表生徒がパワーポイントによる口頭発表を行いました。

有本先生の講義では、5つの要点(①発表時間とスライドの枚数 ②フォントサイズと色 ③文字・情報の量 ④アニメーションの使用について ⑤図表・写真)を中心に学びました。他にもメモをとることの大切さや、口頭発表のポイントについてなど、たくさんのお話を学びました。これは課題研究等の発表に対して今すぐ役立つことができるものばかりです。3学期以降の色々な発表会に向けて頑張りましょう！ペアワークは5つの要点について隣の人に説明することで理解を深めるという内容でした。

発表は5人の生徒が自分の好きなテーマについてパワーポイントで発表しました。スライドの背景と字の色など課題が見つかったと思います。前を向いて話すのは、わかっても難しいと感じる人が多かったです。これからたくさん発表の機会があります。しっかり準備・練習していい発表ができるようにしましょう！

本校ホームページにも、SSH 事業の年間計画や詳細などを掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。